

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島の各港において、安全性や利便性を高めるための工事を行っています。

今回は、このうち大島の元町港と波浮港、利島の防波堤（北）、新島の新島港で行っている防波堤工事を紹介します。工事の目的は、外からの荒波をやわらげ、波を穏やかにして、港に船が着きやすくすることと、船への乗降や荷卸ろしのスペースを広げること等です。これらの現場では、工事の最大のポイントであるケーソン（コンクリート製の箱）の設置を、7月上旬から下旬にかけて行いました。工事の流れは、下記のとおりです。

- ① 水中部でケーソンが座る部分の石を平らにする。
- ② 防波堤の本体となるケーソンを、東京港の製作場所から船で引っ張ってくる。
- ③ 設置する場所にケーソンを海中に沈めて、その中に重しとなる砂などをに入れて、コンクリート蓋をして完了。

関係者の皆様には、引き続きご理解とご協力の程をいただきますよう、よろしく申し上げます。

大島町



ケーソンを運搬している様子



ケーソンを沈めた様子（元町港）

利島村



ケーソンを運搬している様子



ケーソンを沈めた様子（防波堤（北））

新島村



ケーソンを運搬している様子



ケーソンを沈めた様子（新島港）

また、大島支庁港湾課では、防波堤や船揚場整備などのほか、砂浜の浸食を防ぐための離岸堤（潜堤）の改良や養浜などを行っています。

神津島港の海岸は、美しい白い砂浜で、海水浴や国体ビーチバレーボール大会、神津島アクアスロン大会等さまざまなイベントが開催され、賑わいの場として活用されています。

現在、こうしたイベントを開催するのにふさわしい砂浜を維持していくために、砂を供給する養浜工事を行っています。三浦漁港の工事で発生した砂を三浦漁港に一度仮置きして、風の穏やかな時期に神津島港海岸へ運びました。

今後とも、関係の皆様が快適に御利用いただけるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力の程をよろしく申し上げます。

神津島村



平成25年度国体ビーチバレーボール大会 開催状況



平成26年度神津島港海岸養浜工事 土砂搬入状況



平成26年度神津島港海岸養浜工事 敷均し状況